

令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年12月26日

協議会名: 茂原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鐵道株式会社	市民バス「モバス」 南部(鶴枝)コース 系統:茂原駅～三ヶ谷神社～茂原駅(20.9km) 運行回数:5便/日 南部(五郷)コース 系統:茂原駅～石神集会所～茂原駅(12.1km) 運行回数:4便/日 運賃:200円(障害者手帳所持者、その介助者、運転経歴証明書所持者、小学生は100円)	<ul style="list-style-type: none"> 交通マップの配布について、利用者の気をひくような仕掛け、工夫に心がけていただきたいと評価結果を受け、引き続き、「茂原市交通マップ」を市内の各公共施設や鉄道駅等に配布するとともに、商業施設に協力いただき、入口付近に配置することで、さらなる周知を図った。 収支を意識しながら、かつ公共性を保持していくかと評価結果を受け、運賃収入以外の収入源の確保から、市民バスの車体に有料広告の掲載を行った。 	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 目標:利用者数100人/日以上 実績:69.1人/日 分析:新型コロナウイルスの影響を受けているものの、目標値には程遠く、利用者を増やすため利用者ニーズの把握に努めたい。	<ul style="list-style-type: none"> 運賃収入以外の収入源の確保のため、引き続き市民バスの車体等に、有料広告を募集し掲載を行う。 広報・自治会への回覧等を通じ、さらなる周知を図ると共に、意見交換会での現状、利用者ニーズの把握に努める。 市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。 転入者に交通マップの配布を行い、公共交通の周知を図る。
都自動車株式会社	デマンド交通「ふれあい」 運行区域:市内北西エリア 運行日:月・水・金曜(祝休日・年末年始運休) 運行本数:8便/日(8時、9時、10時、11時、13時、14時、15時、16時) 運賃:400円(障害者手帳所持者、その介助者、運転経歴証明書所持者、小学生は200円)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き利用促進の取り組みを進めていただきたいと評価結果を受け、デマンド交通「ふれあい」全利用登録者世帯宛にPRを兼ね、乗降場所追加のお知らせを送付し周知を図った。 利用促進のため、デマンド交通「ふれあい」利用者の地区別割合や行き先等の分析をし、状況把握に努めた。 	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標:利用登録者数750人以上 実績:823人 分析:周知が行き届き、順調に伸びている。 目標:利用者数10人/日以上 実績:14.2人/日 分析:新型コロナウイルスの影響をあまり受けておらず、通院、買い物等の移動手段として利用されている。	<ul style="list-style-type: none"> 利用需要の高い高齢者を中心とした利用促進策を講じて、利用者の拡大に努める。 広報・自治会への回覧等を通じ、さらなる周知を図ると共に、意見交換会での現状、利用者ニーズの把握に努める。 市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。 転入者に交通マップの配布を行い、公共交通の周知を図る。